

看護部長だより



2011. 5. 12 Vol. 14
熱海所記念病院
看護部長 久々湊智予

ゴールデンウィーク中お疲れ様でした。

そして、ありがとうございました。

戴帽式について

1. 戴帽式は神から授かった看護師という天与の使命を、生徒に自覚させるための儀式である。

看護師の白帽は、初代キリスト教会のディアコニッセ（看護尼、女助祭）たちがかぶったもので神の権威の象徴である。古代キリスト教においては、孤児や病人看護は神の意志によってなされるものとして考えられ、重要な宗教的業務であった。

ナイチンゲールはドイツのディアコッセに学んだ経歴を持ち、古代キリスト教の看護に対する聖職観と神のシンボルマークたる白帽を継承したので、それが現代まで伝承されているのである。

2. 戴帽式は看護師という天職の服務規定の遵守を神に誓う儀式である。

最近ではほとんどの病院が、感染防止の観点から（看護師はキャップが重くよくキャップに手をもっていった。）キャップが廃止になったように記憶しています。

新入職員紹介

5月1日 志賀明憲さん 6階病棟
宜しく申し上げます。

